

給水栓付洗濯機防水パン USBS-6464



給水栓 施工説明書

このたびは、本製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
取り付け工事をおこなう前に、本書をよくお読みのうえ、正しく施工
いただきますようお願いいたします。
施工のあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに本書を
必ず保管してください。

目次

- 1…安全上のご注意
- 2…梱包一覧
- 3…水栓金具を本体へ取り付け
- 4…補強脚をセット
- 5…使用上のご注意
- 6…耐圧検査

シナネンアクシア株式会社

1 安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、説明書にそって
お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
又、この施工説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で
説明しています。

	注意 この表示は、「損害を負う可能性または物的損害が 発生する可能性が想定される」内容を示しています。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

<施工上の注意事項>

注意	
	給水栓及び排水トラップの取付けは、手順にしたがって確実に 行ってください。 施工に不備があると漏水の原因となり、家財等を濡らす財産損害 発生のおそれがあります。
	洗濯機パンに硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。 洗濯機パンの破損が原因でケガをしたり、漏水により家財等を 濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工の前には、「施工説明書」を熟読して正しく施工をしてください。
また、ご不明な点は弊社担当者と充分打ち合わせのうえ、実施してください。

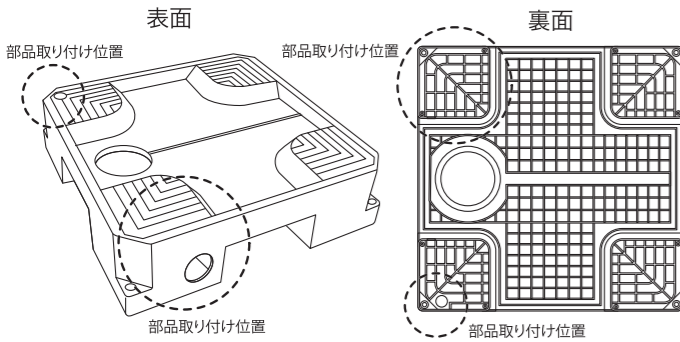
2 梱包一覧

●梱包されている部品を確認してください。組み立てをする前に、防水パン周辺の片付けや掃除をしてください。

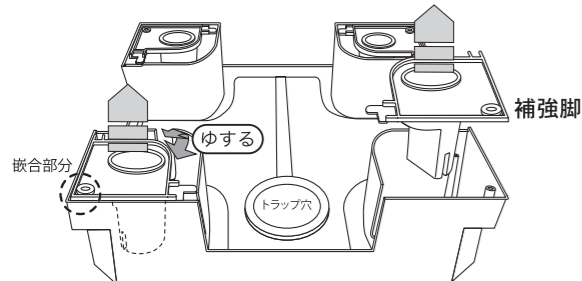
1 ネジリング 1コ	2 ネジナット 1コ	3 カプラーセット 1セット	4 ハンドル 1コ	5 ハンドルブッシュ 1コ
6 水栓金具 1コ	7 プラワッシャ 1コ	8 スパースーリング 1コ	9 本体押さえ 1コ	10 L字アングル(アルミ製) 1コ
11 カプラー押さえ ※青いシールが貼っている方を 上にして取り付けてください。 1コ	12 ハンドルキャップ 1コ	13 クイックファスナー 1コ	14 アルミ部材固定用 トラスネジ(M4x15mm) 2コ	15 アルミ部材固定用 サラネジ(M4x10mm) 2コ
16 ネジリング固定用 タッピングネジ (M3x8mm) 1コ	17 ハンドルビス (座付き M4x16mm) 1コ	18 シール 1枚	19 カプラーホース 1本	20 施工説明書(本書) 1枚

3 水栓金具を本体へ取り付け

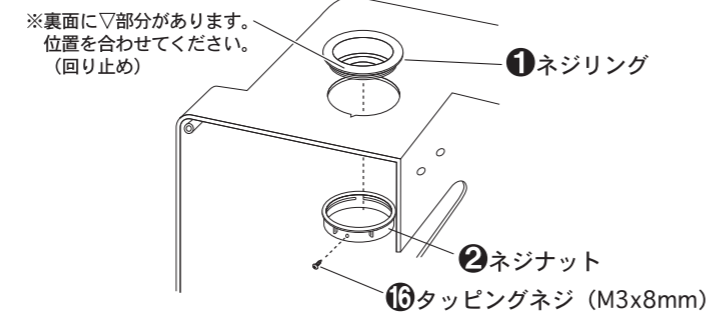
1 防水パン本体の図の部分に梱包パーツを組み立てていきます。
まずは、取り付ける位置の確認です。
トラップ穴の空いている方が前面から見て左側になります。



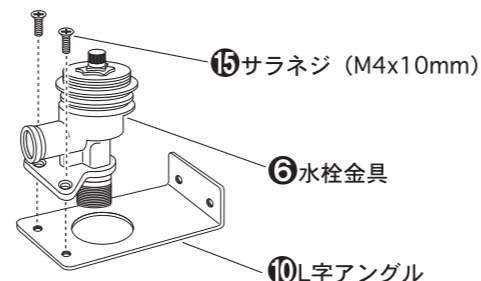
次に、あらかじめ本体に取り付けられている補強脚を下図の
2箇所からはずします。その際に図の部分(補強脚の端)を上下
にゆすり、徐々に嵌合部分をはずしてください。無理やりには
ずそうすると破損しますので気を付けてください。
※工具等は絶対に使用しないでください。破損のおそれがあります。



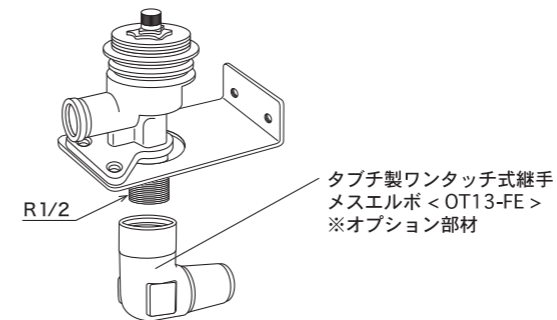
2 防水パン本体に**1**ネジリングを取り付けます。
本体の切れ込みにネジリングの▽部分を合わせてください。
取り付けた**1**ネジリングに**2**ネジナットをねじ込みます。
16タッピングネジ (M3x8mm) を締め込んでください。



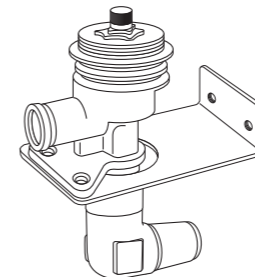
3 **6**水栓金具に**10**L字アングルを**15**サラネジ (M4x10mm) で
取り付けます。
※金属部品の取扱いには、手を切らないように気を付けてください。



4 **3**で組み立てた水栓金具にワンタッチ式継手メスエルボ
<OT13-FE>を下図のように組み付けてください。



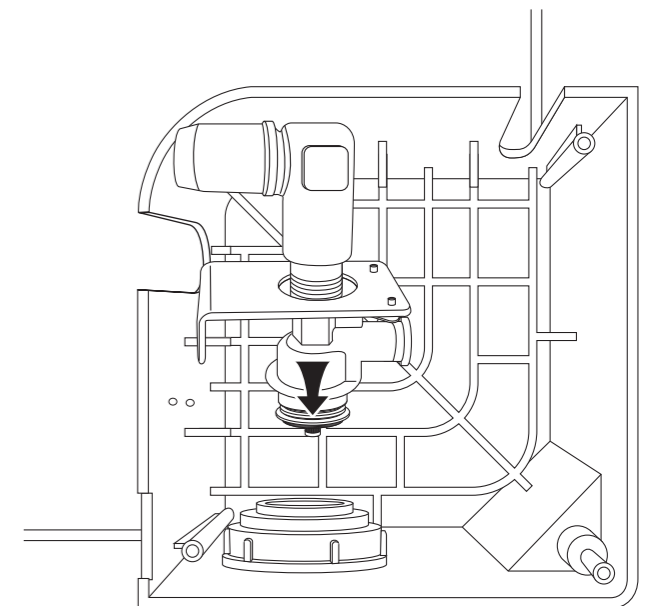
5 ワンタッチ式継手メスエルボの取付け角度はシールテープを
巻いて調整してください。



※図のような角度に固定してください。

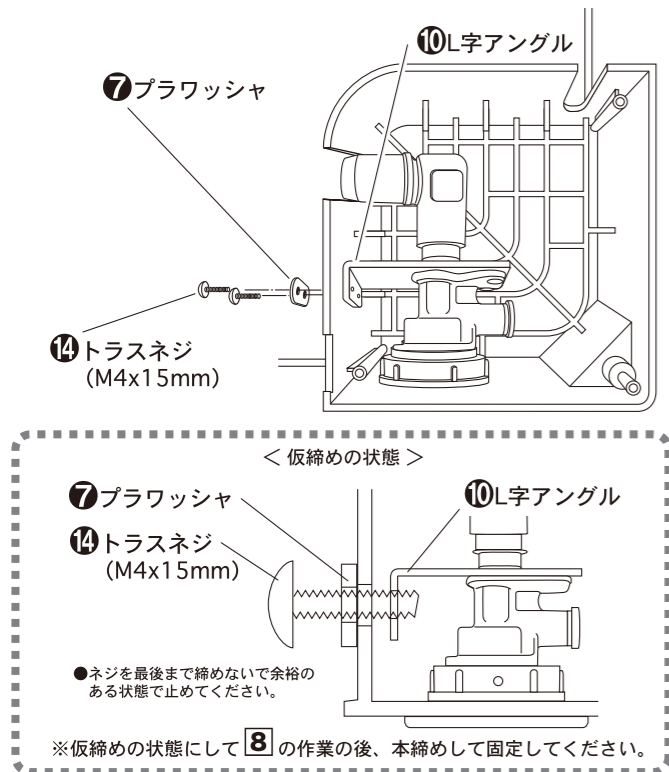
ワンタッチ継手の接合部のシール性は必ず確保ください。

6 **5**で組み立てた水栓金具を本体に取り付けます。
本体に取り付けたネジナット部に水栓金具を差し込みます。

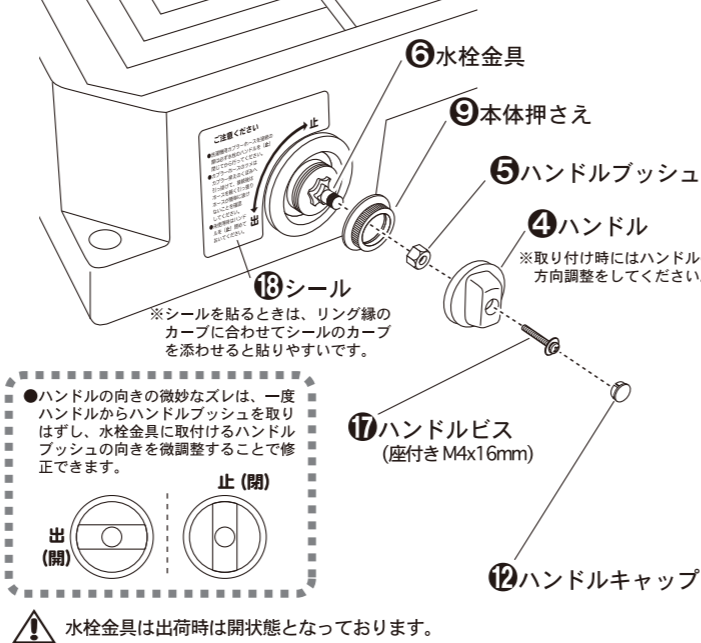


3 水栓金具を本体へ取り付け

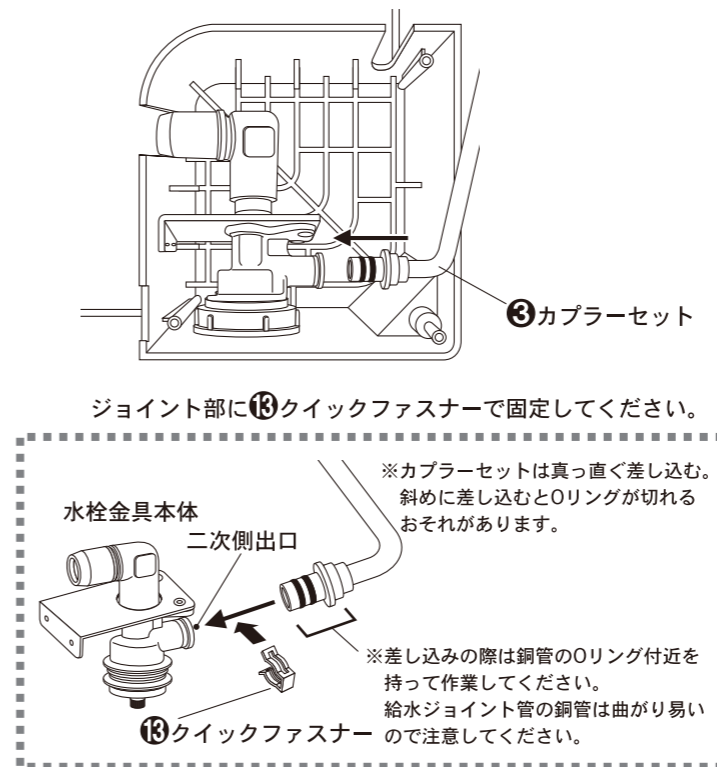
7 プラワッシャと**14**トラスネジ (M4x15mm) で、まずは**10**L字アングルを仮締めしてください。



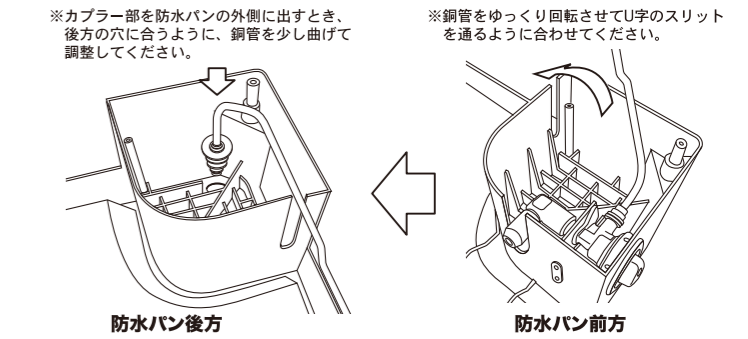
8 水栓金具に**9**本体押さえをねじ込んでください。**5**ハンドルブッシュ、**4**ハンドル、**17**ハンドルビス、**12**ハンドルキャップを取り付けます。**7**で仮締めしていた**14**トラスネジ (M4x15mm) を本締めしてください。次に**18**シールを貼り付けます。



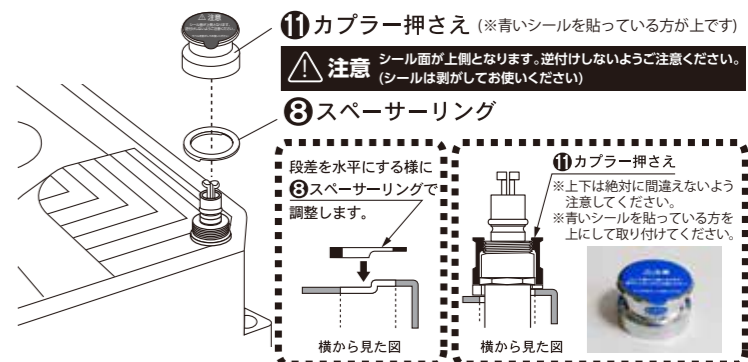
9 水栓金具本体の二次側出口にゴミ等の異物が附着していないことを確認し、**3**カプラーセットを差し込みます。



10 水栓金具とカプラーセットを接続したら、カプラー部分を防水パン後方の穴から外側に出します。

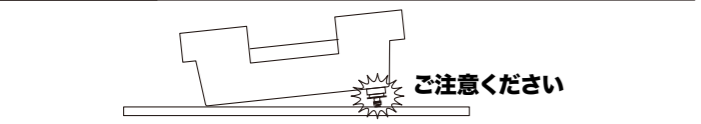


11 本体をひっくり返し、穴から出たカプラー部に**8**スペーサーリングを入れ**11**カプラー押さえをしっかりとねじ込んで固定してください。

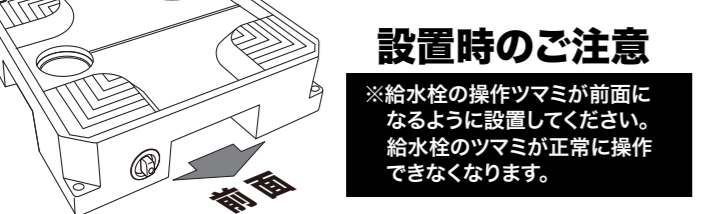
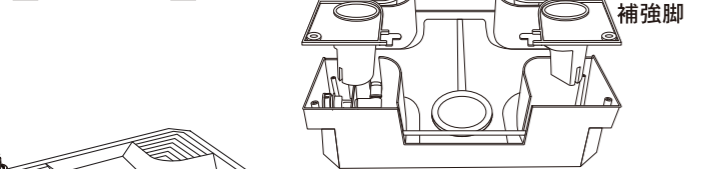
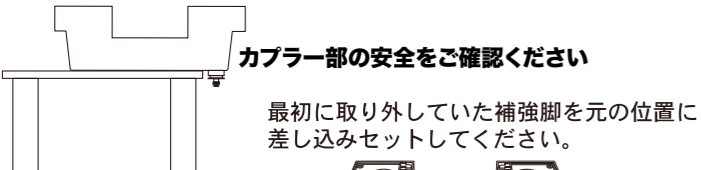


4 補強脚をセット

注意 補強脚を差し込む時に防水パンの上面にカプラー部分が飛び出しています。衝撃に気を付けてください。



注意 台などの上で作業される場合は、カプラー部分を台から外に出るようにして作業してください。

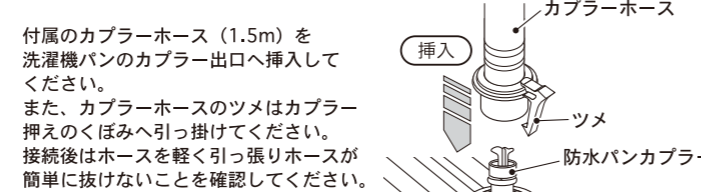


※がたつき等がないことを確認してください。

5 使用上のご注意

■洗濯機用カプラーホースの接続

本製品は、規格品の洗濯機用カプラーホースに対応しています。(日本電気工業会規格 JEM1206)



付属のカプラーホース (1.5m) を洗濯機パンのカプラー出口へ挿入してください。また、カプラーホースのツメはカプラー押えのくぼみへ引っ掛けてください。接続後はホースを軽く引っ張りホースが簡単に抜けないことを確認してください。

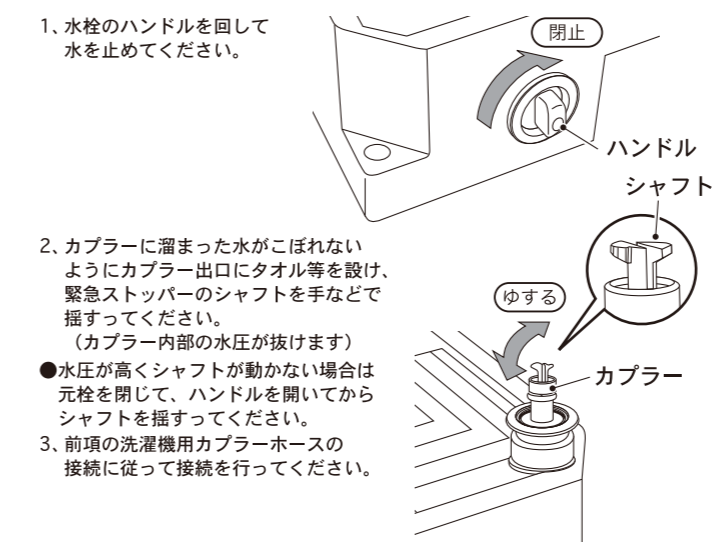
●カプラーホースをお買い求めになられる場合は長さ1.5m以上のものをお選びください。

<洗濯機用カプラーホース取扱上の注意事項-1>

注意	
!	洗濯機用カプラーホースを接続する際は上記図のように正しく挿入してください。強引な挿入は部材を破損し、漏水の原因となります。
!	洗濯機用カプラーホースは必ず日本電気工業会 (JEM1206) の規格製品をお使いください。規格外のカプラーホースをご使用になられた場合はシール不足やホース抜けによる漏水の原因となり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
!	洗濯機用カプラーホースを接続する際は必ず水栓のハンドルを閉じ、吐水口内の水圧を抜いてから接続してください。水圧により接続ができない場合は次ページの対処を参照ください。

■洗濯機用カプラーホースが外れた時の対処法

万が一、通水中に洗濯機用カプラーホースが外れた場合には洗濯機パンのカプラーに内蔵された緊急ストッパーが作動し、水が漏れない構造になっています。再度、洗濯機用カプラーホースを接続する場合は下記の要領に従って接続を行ってください。また、洗濯機用カプラーホースを接続せずに水栓のハンドルを開けた場合にも同様の作業を行ってください。



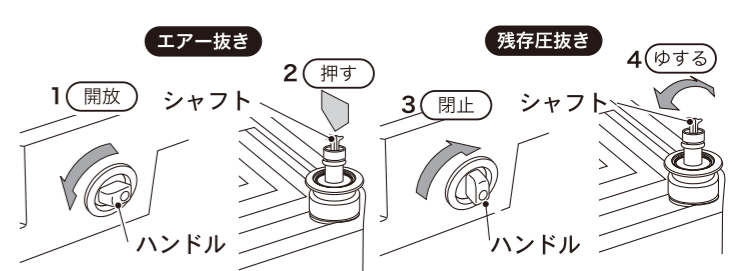
<洗濯機用カプラーホース取扱上の注意事項-2>

注意	
!	洗濯機用カプラーホースの接続の際は必ず水栓のハンドルを閉じてから行ってください。水の飛び散り及び部材破損の原因となり、漏水の原因となります。

6 耐圧検査

水栓器具の耐圧検査は防水パンを固定する前に行ってください。

- ①ハンドルで、給水栓を解放 (左まわり) してください。シャフトを押して配管中に留まったエアを抜いてください。
- ②ハンドルを開放した状態で水栓の全耐圧を行ってください。(器具全体の耐圧は0.75MPaまでで行ってください。)



③耐圧検査が終了したら、給水栓を閉めてください。(ハンドルを右まわり) シャフトをゆすって、水栓器具内の残存圧を抜いておいてください。

※給水配管の全耐圧を行う場合は、必ず給水栓は閉止の状態で行ってください。

<寒冷地での取付けについて>

注意 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。